

京都市宇多野ユースホステルにおける 多文化共成の取り組み

～観光旅行から感考旅行へ～



一般財団法人京都ユースホステル協会
総務部 片山幸雄

ユースホステルとは



学校の中では得られない
学びが**旅の中**にある。

ユースホステルとは

ユースホステルは1909年にドイツで生まれ、その歴史は100年以上。約80の国と地域に4,000カ所以上の宿泊施設があり、日本には北海道から沖縄まで約220カ所のユースホステルがあります。

[国際ユースホステル規約]

第2条 目的 ※一部抜粋

人種、国籍、皮膚の色、宗教、階級、ならびに政治的信条による差別をしない、ホステル、またはその他の宿泊施設を提供し、それによって国の内外を問わず、たがいに仲間として人間としてのよりよい理解を助長する。

宇多野ユースホステル

1959年(昭和34年) 開 所

2008年(平成20年) 全館リニューアル・オープン



客室:41室 定員:170名 宿泊費:1泊3,390円～

宇多野ユースホステル 施設

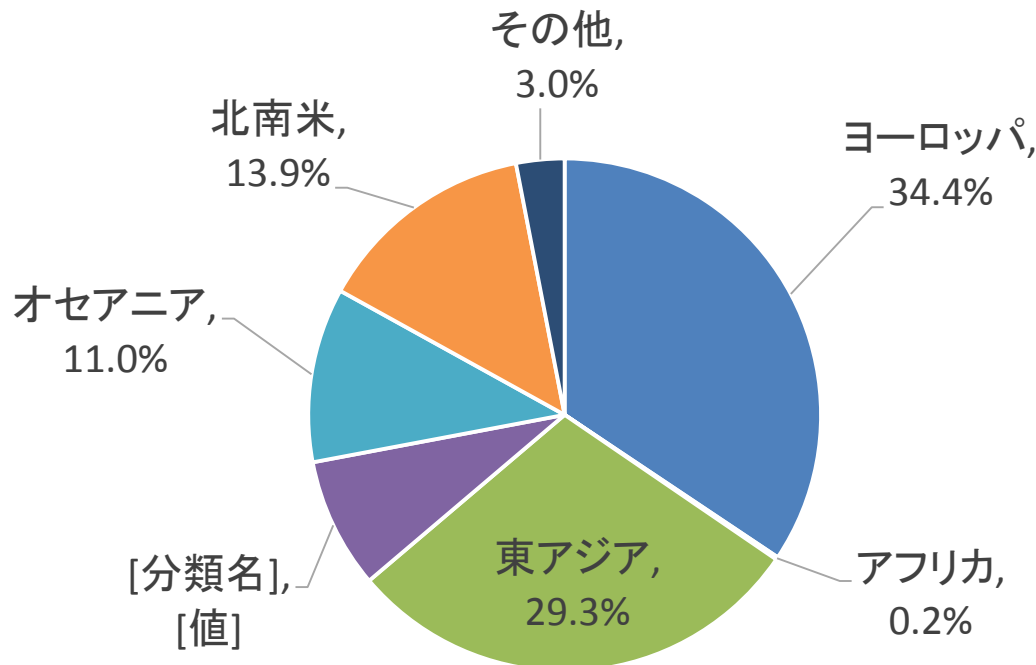


ツイン(4) 3人部屋(8) 4人部屋(18) 6人部屋(7) 和室(4)
※()内は客室数

宇多野ユースホステル 利用状況

2015年度宿泊状況 40,368名
 内、日本人 25,864名 64.1%
 内、外国人 14,504名 35.9%

[外国人エリア別宿泊状況]



2015年度	
国名	泊数
韓国	1,649
アメリカ	1,601
台湾	1,295
オーストラリア	1,165
中国	1,036
オランダ	1,008
フランス	963
ドイツ	837
デンマーク	628
イギリス	477
その他	3,845
(合計)	14,504

宇多野ユースホステル 方向性

出会いと交流の機会を創造し、
宿泊＋αの滞在を提供



事業・イベントの実施



宿泊者の満足度向上
ユースホステルの魅力化・特徴化



KYOTO UTANO
YOUTH HOSTEL



宇多野ユースホステル 事業・イベント

- 「エブリデイワン」
毎日何か1つ楽しみを提供
- 「交流事業」
地域と宿泊者とマッチング
- 「受入事業」
国内外の青少年の住み込みでの活動



気づき、発見、芽生え、感動
経験による自信、積極性、自発性



多文化理解の第一歩

多文化“キョウセイ”の違い



[多文化共生]

人々が互いに文化的な違いを認め、対等な関係の中で共に生きていくこと。

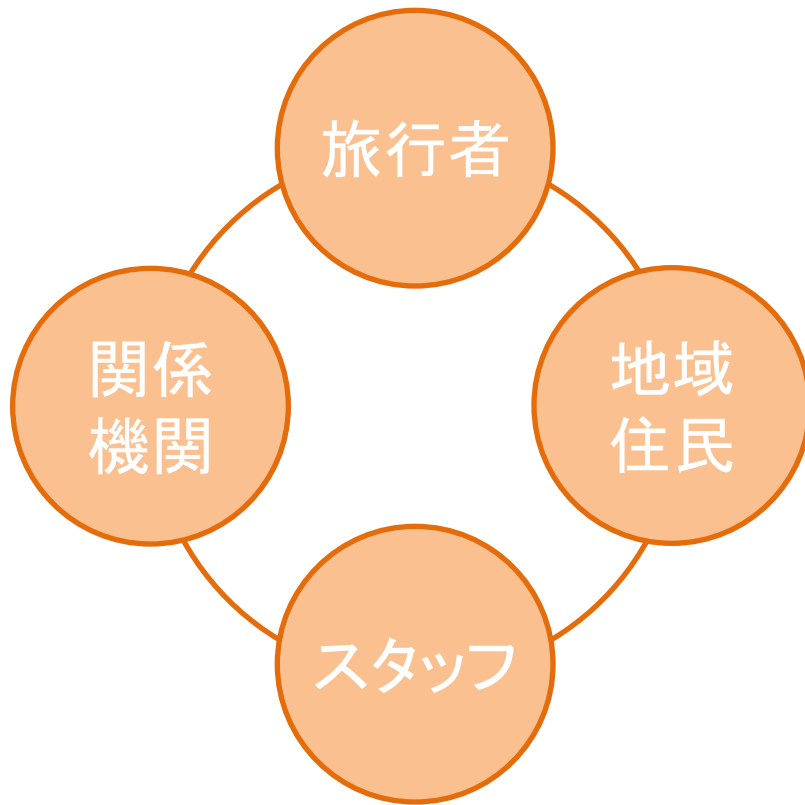
宇多野ユースホステルでは...



[多文化共成]

人々が互いに文化的な違いを楽しみ、相互に作用する中で共に成長していくこと。

宇多野ユースホステル 多文化共成



[コンセプト]

- 支援する側とされる側の区別なし
- つなぐ、つなげる
- 双方向、多方向に作用
- 互いに成長
- みんなが主役



**つないで作り出す
“機会・キツカケ”**

事業・イベント/エブリディ・ワン



事業・イベント/エブリディ・ワン



事業・イベント/エブリディ・ワン

書道体験



事業・イベント/エブリディ・ワン



箸置き作り体験



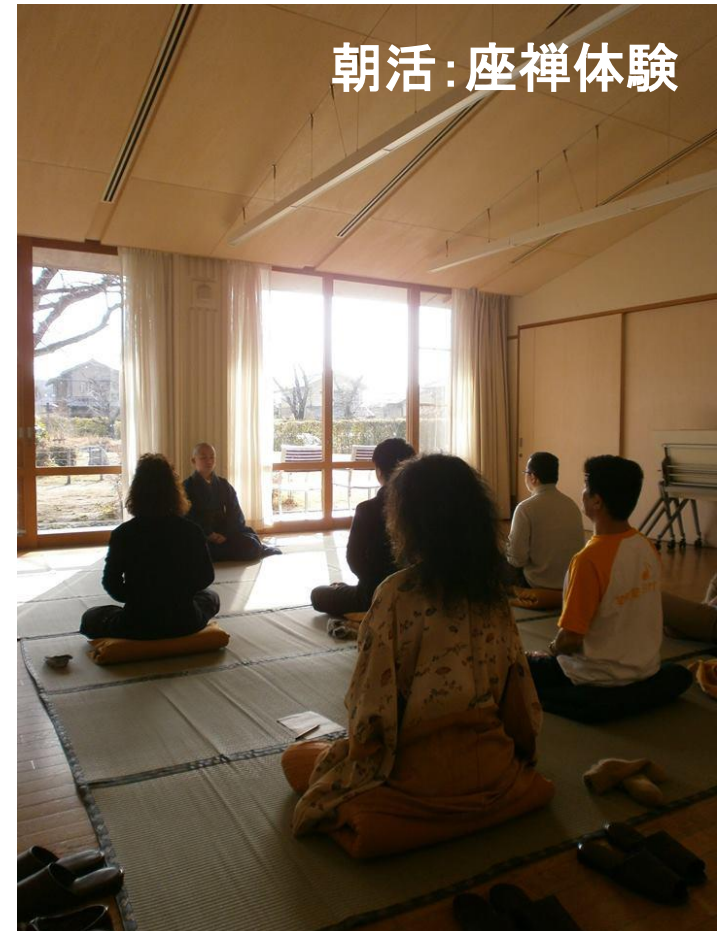
投扇興体験



事業・イベント/エブリディ・ワン



事業・イベント/エブリディ・ワン



事業・イベント/エブリディ・ワン

宿泊者によるイベント
アラスカと日本の小学生



宿泊者によるイベント
ドイツ青少年オーケストラ



事業・イベント/エブリディ・ワン



事業・イベント/交流事業



事業・イベント/受入事業



事業・イベント/受入事業



宇多野ユースホステルとしては

多様な機会・キッカケの継続提供

- すぐに興味・関心に至らなくても、心に残る経験となれば。
- 子どもの頃から多様な機会・キッカケのある環境を提供することが出来れば。



他者や他(多)文化を理解する気持ち



自己の理解



自己の成長



最後に

観て回る観光旅行から、感じ考え

る**感考(カンコウ)旅行**になる

よう、様々な機会やキッカケを今後も

提供していきたいと思います。





ありがとうございました。

Thank you very much

감사합니다

Köszönöm mindenkinek

Děkuji vám všem